

平成 31 年（2019 年）4 月 1 日

岡谷南高校運動部活動方針

長野県岡谷南高等学校長

1 目標

- (1) 部活動は生徒の自主的、自発的な参加により行われ、教育活動の一環として実施する。
- (2) 質の高い文武両道を実現させるため、自ら学ぶ力、チャレンジする力、豊かな人間性と社会性を育てる。
- (3) 技術・競技力を向上させるだけでなく、個性の伸長と生涯教育の一環として楽しみながら活動する面の両立を図る。

2 具体的な運営方針

(1) 活動日および活動時間について

- ①休養日
  - ・学期中は、原則として、週当たり 2 日以上 of 休養日を設ける。  
(平日は 1 日、週末 {土日} は少なくとも 1 日以上を休養日とする。ただし、大会直前、週末に大会参加などで活動した場合や、スケートなど活動期間が季節によって限定されるような場合は、休養日を他の日に振り替えることとする。)
  - ・長期休業中の休養日の設定は原則として、学期中に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、多様な活動ができるよう休養期間を設ける。

- ②活動時間
  - ・1 日の活動時間は、平日及び学校の休業日（学期中の週末を含む）とも種目の特性に合わせ 3 時間程度の合理的でかつ効果的な活動となるよう効率化に努める。なお、大会や練習試合で、基準とする時間を上回る場合には、他の活動時間を調整するなど、週当たりの活動時間にも留意する。

(2) 適切な運営のための指導体制について

- ・顧問、副顧問の協力体制のもと負担の軽減を図ると共に、専門的指導者が不在の部については、外部指導者の活用に努める。
- ・運動部顧問会では各部の取り組み状況等の情報を交換するとともに、部活動運営に係わる諸課題を協議する。

(3) 安全で効果的・効率的な活動の推進について

- ・各部の運営にあたっては指導に関する基本方針・練習計画・練習内容・活動時間・会計処理等を保護者に示し連携を図る。
- ・効率的・効果的・安全な練習メニューを設定し、自主的・自発的に活動できる生徒の育成に努める。
- ・専門的知見を有する教師や養護教諭等とも連携・協力し、生徒の心身の健康管理、事故防止に常に注意払うとともに、体罰やハラスメントの根絶を徹底する。

(4) 学校単位で参加する大会

高体連、高野連が主催、共催、後援する大会以外への参加は、生徒の教育上の意義や、生徒や顧問の負担が過度とならないことを考慮して、参加する大会等の精査に努める。